

中部の未来創造大賞とは?

これからの「地域づくり」は、社会資本の整備だけでなく、その維持・活用や環境保全、その地域の持つ歴史と伝統への配慮などを総合的に考え推進していくことが不可欠です。また、平成20年に閣議決定された国土形成計画(全体計画)では「新たな公」を基軸とする地域づくりの視点が盛り込まれており、「中部の未来創造大賞」では、このような観点から、民間、行政の垣根を越えた幅広い分野で取り組まれているみなさまの活動を募り、表彰し、広く一般に紹介することによって、これからの新しい中部の「地域づくり」に役立てていきたいと考えています。

●第1～8回(平成12～19年度)の主な受賞事例

住民部門

住民と行政と企画が三位一体となって

矢田・庄内川をきれいにする会



名古屋の母なる川“堀川”再生をめざして

クリーン堀川



宿場の賑わい復活プロジェクト

宿場の賑わい復活一座



二百万本の彼岸花と四季の花々で童話の里を彩る環境美化活動

矢勝川の環境を守る会



相生山緑地オアシスの森くらぶ

相生山緑地オアシスの森くらぶ



企業・学校部門

矢作川の小さな見張り番

豊田市立西広瀬小学校



きれいな海岸をとりのどそう

津市立北立誠小学校



守ろう。ふるさとの水門川&地域ぐるみの親子早朝清掃

大垣市立興文小学校



2020年笠原の森プロジェクト

多治見市立笠原中学校



“夢を大地に”アクションプログラム

静岡県立磐田農業高等学校



行政部門

わしら自慢の公園じゃまあいっぺん見にきておくれ～動く元気高齢者

藤原町役場



里山に生きる牧田保育園

上石津町役場



うだつの上がる町並みを生かしたまちづくり

美濃市建設部都市整備課



三島市街中がせせらぎ事業

静岡県三島市



八穂環境学習教室

海部地区環境事務組合八穂クリーンセンター



FUTURE CREATION 2008

中部の未来創造大賞

主催/中部の未来創造大賞推進協議会

中部の未来創造大賞については右記のホームページをご覧ください。

中部の未来創造大賞推進協議会事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課 TEL (052) 953-8127
社団法人 中部建設協会 業務部 TEL (052) 962-9086
mirai@ckk.or.jp

▶▶▶ <http://www.cbr.mlit.go.jp/mirai/>

●この冊子は再生紙を使用しています。

FUTURE CREATION 2008

中部の未来創造大賞

第9回

未来の笑顔のために
みなさんの「地域づくり」の活動を応援します

CONTENTS・目次

第9回「中部の未来創造大賞」について……………1

大賞

住民部門……………2

熊野古道始神峠の整備・保存活動

企業・学校部門……………3

輝け、サンセット(夕日が美しい丘)ナンバー1

～花の保護育成と環境保全活動を中心に～

優秀賞

住民部門……………4

歴史を活かした町づくり

住民部門……………4

第2回すんぷ☆エコアクション

企業・学校部門……………5

環境意識向上プロジェクト(リサイクル)²システム

行政部門……………5

野鳥のいる水辺環境保全プロジェクト

中部経済連合会賞

住民部門……………6

ホテルのとびかう人里づくり

中日新聞社賞

住民部門……………6

旧国鉄トンネル群からなる産業遺産の保存再生活動

選考を終えて(表彰委員より)……………7

中部の未来創造大賞とは?……………8

第9回「中部の未来創造大賞」について

「中部の未来創造大賞」は、地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようとするものです。

第9回目にあたる今回は、3部門で104件の応募をいただきました。

表彰委員会による審査の結果、大賞2件、優秀賞4件、特別賞2件が選考されました。

本冊子は、これらの選考された活動の概要を紹介するものです。

今後の地域づくりに広く役立てていただければ幸いです。

募集部門



住民部門

個人やNPOなどの民間団体など、一般住民からの応募を対象



企業・学校部門

企業、学校、公益法人などからの応募を対象



行政部門

行政機関(国及び地方公共団体、公団・公社を含む)からの応募を対象

主催/中部の未来創造大賞推進協議会



熊野古道始神峠の整備・保存活動

始神峠を守る会

〒519-3208 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区三浦318
TEL 05974-9-3353 FAX 05974-9-3353

始神峠を守る会は、紀北町紀伊長島区三浦地区の散策グループが荒廃していた、熊野古道始神峠ルートを整備していこうと平成10年12月に設立し、世界遺産登録に大きく寄与した活動をしています。

具体的には、以下の目的をもって活動をしています。

- ・ 始神峠の整備保全を通じ自然や環境を守り地域の活性化を図る。
- ・ もてなしの気持ちで始神峠の利用者と接し交流を深める。
- ・ 始神峠の散策のより、自然と親しむとともに健康の増進を図る。



始神峠古道を利用する観光客



始神峠江戸橋整備作業



輝け、サンセット(夕日が美しい丘)ナンバー1 ～花の保護育成と環境保全活動を中心に～

阿南町立阿南第二中学校

〒399-1612 長野県下伊那郡阿南町新野1294
TEL 0260-24-2023 FAX 0260-24-2017
URL <http://www.mis.janis.or.jp/~anan2jhs/>
E-mail anan2jhs@mis.janis.or.jp

阿南第二中学校は、全校生徒40名の山間へきち校で地域住民との連携を中心に「共に育ち、共に輝くまちづくり」を目指しています。「ハナノキ」「ササユリ」の保護育成活動を教育課程に位置づけ、次世代に繋がる自然景観・新野の地域づくりに取り組んでいます。

具体的には以下の社会貢献活動があり、生徒の情操教育にも寄与しています。

- ・ 学校林での下草刈りやゴミ拾い。
- ・ 地域住民や企業と連携し河川清掃。
- ・ 「花のオアシス運動」(種から栽培し町内の公共施設に寄贈)。
- ・ 早起き登山でゴミ拾い。



種から栽培した3種の花(花のオアシス運動)



学校林の下草刈りをする生徒と地域住民





歴史を活かした町づくり

NPO法人 犬山城下町を守る会

〒484-0083 愛知県犬山市大字犬山字東古券399-3番地
TEL 0568-61-8608 FAX 0568-61-8608
E-mail hasg@kpe.biglobe.ne.jp



犬山城下町を守る会では、国宝犬山城を擁する城下町の歴史的風致を守り地域の活性化を図り、環境文化の創造に貢献する事業を行い、地域の発展に寄与することを目的としています。事業内容として、「まちづくりに関する情報の提供と学習」「まちづくりに関する講演会、見学会、交流会の開催」「町並保存のための建物修理、修景相談事業」「町並保存のための調査及び建物修理、修景工事に対する技術的協力」「町並保存のための建造物の保存管理に対する協力」を進めています。



高木邸の格子清掃活動



環境意識向上プロジェクト(リサイクル)²システム

岐阜県立八百津高等学校

〒505-0303 岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志2803-6
TEL 0574-43-1231 FAX 0574-43-3918
URL <http://school.gifu-net.ed.jp/yaotsu-hs/>
E-mail c27324@gifu-net.ed.jp



八百津高等学校は、2000年度よりペットボトルの再生繊維から作られた制服を使用しています。3年間使用した制服は、卒業時に回収され(任意提出)今度は自動車の内装部品・軍手・玄関マット等に生まれ変わります。玄関マットは八百津町役場をはじめ教育機関で使用され、軍手は環境美化事業(ぎふロードプレーヤー・八百津町クリーン大作戦等)で使用されています。このように、「ダブルリサイクル」システムを構築し、ゴミの分別・環境保全・資源の再利用への意識向上に繋がっています。



八百津町クリーン大作戦



第2回すんぷ☆エコアクション

すんぷ☆エコアクション実行委員会

〒424-8610 静岡県静岡市清水区折戸3丁目20-1(東海大学海洋学部 環境サークルE.C.O.内)
TEL 090-4189-3085
URL http://www.geocities.jp/sunpu_ecoaction/
E-mail sunpu_pikapika@yahoo.co.jp



すんぷ☆エコアクション実行委員会では、河川・海洋漂着ゴミの発生源を特定するために、流域を前提とした統一的で広範囲の市民参加型の清掃・調査イベントを開催しています。参加者には、海岸利用者のみならず山や川も含めた流域全体のゴミ問題に対する認識を深めてもらい、参加企業・団体同士の協働の促進・連帯等も目指しています。また、調査したデータを取りまとめ、報告書を作成し行政に提供しています。



三保会場における清掃活動風景



野鳥のいる水辺環境保全プロジェクト

岐阜県可茂農林事務所

〒505-8505 岐阜県美濃加茂市古井町下古井2610-1
TEL 0574-25-3111 内線418・419 FAX 0574-25-5301
URL <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s24804/>
E-mail yasue-haruki@pref.gifu.lg.jp



岐阜県可茂地域では、中濃圏地域計画に基づき、「自然環境の保全」「ゼロエミッション社会の構築」「自然との共生社会づくり」を柱として自然と調和した環境対策推進モデル圏を目指しています。そのため稲葉池の整備にあたっては、地域住民や日本野鳥の会、岐阜県国際園芸アカデミーと連携・協力・協働し、単なる副産物の3Rのみではなく、自然環境や生態系への配慮とともに、地域の活性化にも配慮した取り組みを行いました。



野鳥に配慮した稲葉池を望む



住民部門

ホテルのとびかう人里づくり

NPO法人 朝倉川育水フォーラム

〒448-8508 愛知県豊橋市花田町字石塚42番地の1
TEL 0532-53-7211 FAX 0532-53-7210
URL <http://www.asakuragawa.net>
E-mail hotaru@asakuragawa.net

豊橋市を流れ多くの市民に親しまれている朝倉川に、環境の指標生物であるホテルを回復するための河川環境改善事業や、環境改善に係わるまちづくり事業を市民・企業・行政のパートナーシップにより行うことで、朝倉川流域を中心とする豊橋市全域の環境改善を図り、自然あふれる住みよい地域社会の実現を目指しています。

- ・全市的なホテル育成ネットワークの構築
- ・ホテル及び環境保全に関する調査研究事業



朝倉川530(ゴミゼロ)大会



中部経済
連合会賞



住民部門

旧国鉄トンネル群からなる産業遺産の保存再生活動

旧国鉄トンネル群保存再生委員会

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町2-81ポスト春日井版編集室内
TEL0568-87-6533 FAX0568-87-6588
URL <http://www1.odn.ne.jp/tonnerusaisei/index.html>
E-mail muramasa@mc.ccnw.ne.jp

「名古屋」から「多治見」までをつなぐ国鉄・中央線の単線が廃線となってから、41年間人が入る事もなく奇跡的に当時の姿を留めている、総赤レンガ製のトンネル14基は、植生が繁茂し数百本に及ぶモミジと野フジが自生しています。モミジ・野フジを保護育成し「自然の恵みと産業遺産の連動」をメインテーマとし、春日井と多治見両市の市民の手で保存・再生活動を行っています。



姿を現した6号トンネル



中日新聞
社賞

選考を終えて(表彰委員より)

委員長 名城大学 理工学部教授 **松井 寛**

副委員長 名古屋工業大学 大学院教授 **山本 幸司**

委員 三重大学 特命学長補佐 **渡邊 悌爾**

委員 駿府静岡歴史楽会 事務局代表 **竹内 礼子**

委員 中日新聞 論説委員 **前田 弘司**

委員 (社)中部経済連合会 専務理事 **山内 拓男**

委員 国土交通省 中部地方整備局長 **佐藤 直良**

9回目を数える今回の(中部の未来創造大賞)には、昨年比5割強の104件の多数の応募があり、本賞が広く中部地域で認知されてきたことは喜ばしい限りである。内容的には相変わらず住民部門の応募が多かったが、年を追うごとに組織的で大規模な活動が目につくようになり、活動の広がりや深化を遂げつつあることに感銘を受けた。

この表彰制度も9回目を迎え、住民部門への応募が倍増したことは非常に喜ばしい反面、行政部門への応募は低調となっている。ともあれ、様々な立場で数多くの方々から社会基盤施設の整備や利用・保全、まちづくり活動に参画していただけることに改めて感謝と敬意を表させていただきます。

第9回となる本賞に過去最多の応募が集まったことは、地域づくりに多くのグループや組織が意欲的に取り組む気運が向上しつつあることを物語ることで心強く思う。高い評価を得られた活動は、明確なコンセプトと地域の特色を活かした持続的な活動の成果が結実したものである。今後とも、地域の隠れた資源を活かした潤いある国土づくりに市民や各種組織が取り組んでもらいたいと思う。

いくども応募を重ねてきた団体が、年々活動の成果を向上されていることに気付く。また過去の受賞団体が活動を地域に広げて、別の団体が活動を始め成果を挙げて応募してきたものもある。受賞された団体は、ものづくり先進地域の中部らしさ、自然と調和した美しい国土、人の和を築き上げる素晴らしい活動をされていると思う。

今回は応募件数が多かったのは嬉しい。とくに住民部門はにぎやかだったが、気になるのは行政の尻馬に乗って、真に住民の自発的な地域づくりとは思えないものが目についたことだ。資金は乏しくても、下から自発的に盛り上がる活動を望みたい。学校部門で素朴ながらまじめな取り組みが光ったのが対照的である。

今回視察先では、自然環境の保全、リサイクルといった環境問題に焦点を当てた活動が多数見られた。その中で住民部門および企業・学校部門の各受賞内容は、地域住民や自治体、企業等と一緒に参画して、地域の自然・文化を守っていこうとする郷土愛が感じられた。また、地域貢献の高い活動が多数見られるが、全般的に認知度は低く、今後は対外的なPRや他地域との連携等に期待したい。

地域の特性や歴史を活かした取組、中部のすばらしい自然環境の保全を目指した活動など100件を超える応募をいただいたことは、未来の中部の発展のため、住民、企業、学校等の地域の基軸となる活動が推進されていることの証です。今後も中部の未来創造のために継続的に取り組まれることと、活動の更なる発展を期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省 中部地方整備局

愛知県建設部

岐阜県県土整備部

三重県県土整備部

静岡県建設部

長野県建設部

名古屋市緑政土木局

静岡市建設局

浜松市土木部

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

社団法人
土木学会 中部支部

中部電力株式会社

社団法人
中部建設協会

社団法人
日本土木工業協会 中部支部

社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部

社団法人
愛知県建設業協会

社団法人
岐阜県建設業協会

社団法人
三重県建設業協会

社団法人
静岡県建設業協会

社団法人
長野県建設業協会

中日新聞社